

鍼治療 (Acupuncture)



徐 大兼

アルメディカ株式会社 代表取締役
アキュラ鍼灸院 院長

【じょ たいけん】

日本鍼灸理療専門学校卒業・鍼灸師

University of Southern California, School of Business 卒業

The University of Arizona Center for Integrative Medicine Integrative Health & Lifestyle Program 2018年修了

日本生殖鍼灸標準化機関 (JISRAM) 理事

日本不妊カウンセリング学会 理事、第18回学術集会長

京野アートクリニック高輪 鍼灸統合医療ルーム監修

日本の鍼灸について

鍼は701年に制定された大宝律令に医療を司る中央官職として医博士と共に鍼博士も規定されていました。江戸時代に入ると5代将軍徳川綱吉の將軍家御医師、杉山和一が考案した鍼管法が普及。この鍼管法は細く柔らかい鍼を容易に刺入することを可能にする技術として現代でも広く用いられ、日本式の鍼治療として世界に普及しています。

現在、鍼灸の年間受療率(1年間で受けた人)は人口の約5~7%と言われており、身边にありながら、隣国の韓国や中国など伝統医学を重んじている国と比較すると日本では普及していない現実があります。

鍼灸はむしろ、近年、欧米諸国において、目覚ましい普及を成し遂げています。現在米国においてはacupunctureの専門医制度が確立され、また、保険の適応、医療における経済効果も上がっていることから、積極的に取り入れることが推奨されています。また、国民皆保険のない米国では、年間保険料の増加を防ぐためにも、より効果的で安価・副作用の少ない医療として年々利用者が増えています。

米国のART施設での鍼灸普及について

米国では現在IVFを行う施設が500程度あり、そのうち400施設が鍼灸プログラムを提供している、もしくは推奨しているといわれています。また、アメリカを代表する医学部関連施設(ハーバード大学Boston IVFなど)においても鍼灸治療は積極的に導入されています。

アメリカ生殖医学会(ASRM)の運営するウェブサイト(reproductivefacts.org)において、鍼灸の不妊治療に対する効果、治療頻度、治療開始のタイミング、不妊鍼灸スペシャリストの探し方、保険の適応など不妊治療と鍼灸を併用する際の特設サイトが設けられているのも、不妊鍼灸の普及を窺えます。

不妊に対する鍼灸治療のメカニズム

1. 神経内分泌系の調節

灸が視床下部一下垂体一性腺系 (HPG系) と視床下部一下垂体一副腎系 (HPA系) に影響を及ぼし卵巣機能や卵胞の発育、排卵の調整に影響を与えている可能性が示唆されている。

2. 子宮と卵巣の血流動態

子宮内膜及び卵巣の適度な血流は妊娠とその維持に必須で、妊娠能の向上と関連する。鍼灸は子宮動脈の拍動指数を低下させることから、子宮の血流動態に影響を及ぼしている可能性が示唆されている。また、卵巣の交感神経活動の調節に関わることや血管新生因子の産生が報告されている。

3. ストレス、不安、抑うつの軽減

オピオイドペプチドの増加、交感神経活動の低下、偏桃体でのニューロペプチドYの調節、HPA系への影響などの複合的な効果がストレスを軽減させると考えられている。

今後の展望

米国では生殖医療に統合医療を取り入れる試みが加速し始めています。生殖医療は精神的・肉体的・金銭的ストレスを伴うことから、治療の成功率を上げ、それらのストレスを少しでも和らげ、身心共に健康な状態で治療を受けたいニーズの増加に起因しているのではないかでしょうか? 日本においてもART施設の増加により競争が増していることから、今後は差別化のためにも鍼灸など統合医療を取り入れるクリニックの増加が予想されます。私の所属するJISRAM (日本生殖鍼灸標準化機関)には鍼灸外来開設の要望が多数寄せられており、既に数件のクリニックにおいて会員による鍼灸外来が稼働しています。

第16回 日本生殖心理学会・学術集会

テーマ

Tsu-na-gu(繋ぐ)

学術集会 会長

小田原 靖 ファティリティクリニック東京
院長

2019年2月24日(日) 9:00~16:30

都市センターホテル「コスモスホール」



一般社団法人
日本生殖心理学会
Japan Society for Reproductive Psychology